

# 「ワンタイム」のご紹介

---



有限会社 エーエムエンジニアリング

AM Engineering Ltd.

# ワンタイムのご紹介

1. パテの由来
2. パテの成分及び種類
3. ワンタイムの特長
4. ワンタイムの性能
5. 使用上の注意事項
6. 品質保証
7. その他RD商品のご紹介



# 1. パテの由来

パテ  
とは？

昭和35頃に日本に出現  
→高度経済成長における建築様式の変化がきっかけ

以前の建物



湿式工法

- ・外部（モルタル、コンクリート壁）
- ・内部（ベニヤ等 木材壁）

近代の建物

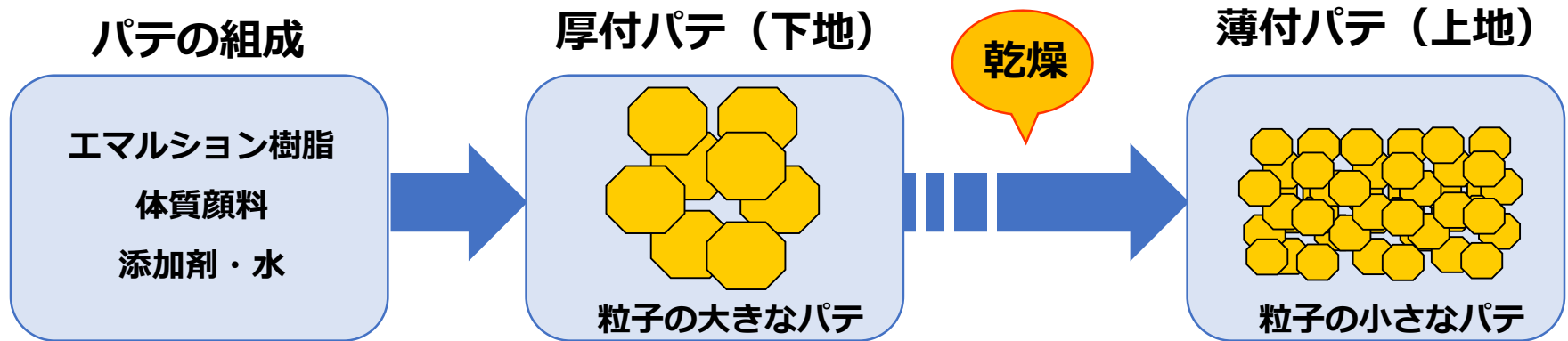


乾式工法

- ・外部（カーテンウォール、ALC等）
- ・内部（石膏ボード、珪カルボード）

ジョイント部が発生  
⇒パテが必要

## 2. パテの成分及び種類



### これまでのパテの問題点

- ・ヤセるため、工程が多くなり時間がかかる
- ・下地と上地のパテ重ね塗りが必要→パテの品種が多い
- ・硬くなったり、貯蔵性が悪く作業性に影響

**要望** 改善する方法はありませんか？



### 3. ワンタイムの特長

## 最大の特徴 = ヤセないパテ

ヤセないことは工程を減らす  
最大の武器になります！



#### 特長1

ほとんどヤセない

#### 特長2

クリーム状で軽く、  
作業性が良い

#### 特長3

どんな穴、ジョイン  
トでも一発充填

#### 特長4

乾燥が速い

#### 特長5

乾燥後（水性・溶剤  
系）の塗装が可能

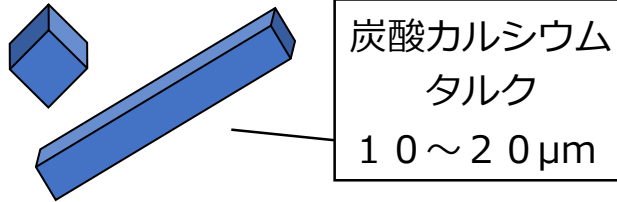
#### 特長6

耐久性に優れる

# 4. ワンタイムの性能

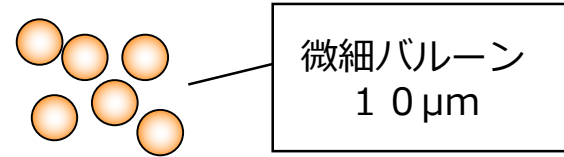
顔料粒子

従来のパテ



粒子が荒く、重さがある

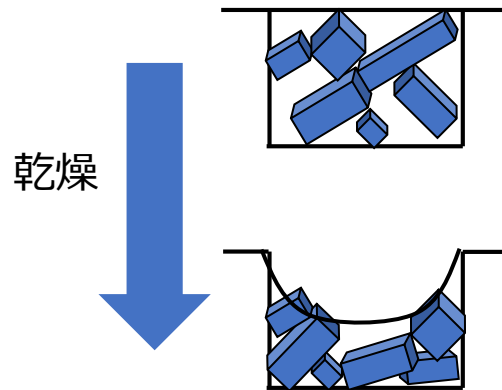
ワンタイム



クリーム状で軽く、安定性が良い

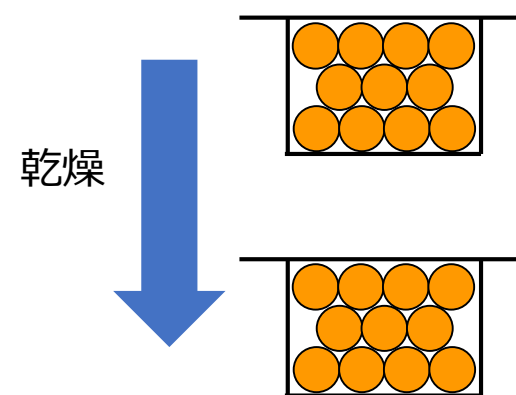
充填状態

従来のパテ



ヤセるため、上塗りが必要

ワンタイム



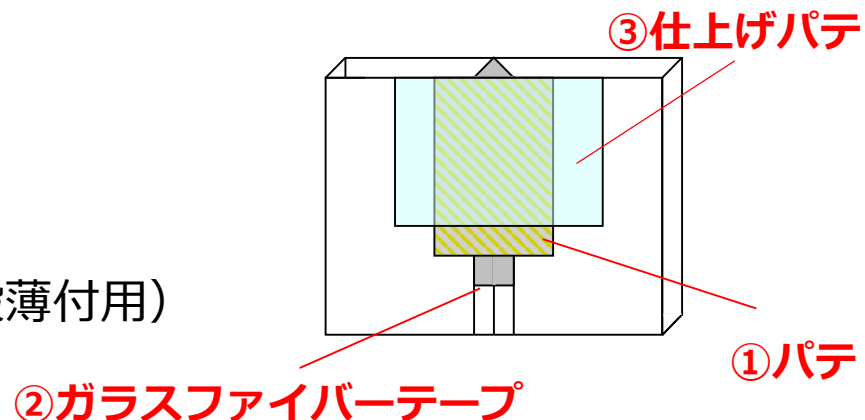
ヤセないため、工期が短縮できる

## 5. 使用上の注意

### 内壁ボードのジョイントの場合

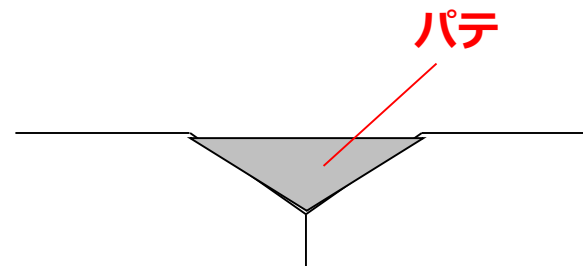
割れ、弛みが発生しやすいため  
下記の手順が必要となります

- ・ ガラスファイバーテープの使用
- ・ 仕上げパテ（J I S K 5669一般薄付用）  
を使用しての仕上げ塗り



### 塗料を塗装する場合

- ・ 吸込み差のため、色ムラが発生し易い  
⇒捨塗り、シーラーを使用してください
- ・ 乾燥不良の場合、膨れが発生し易い  
⇒乾燥度合いの確認が必要



## 6. 品質保証

3つの基準で  
安心品質

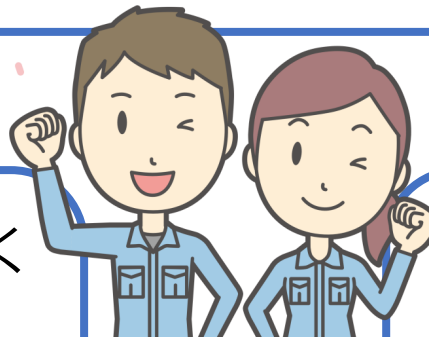
ISO 9002規格に  
保障された品質性能

国際標準化機構 (ISO) による品質マネジメントシステムに関する規格のISO 9000シリーズのうち、製造、据付け及び付帯サービスの業務のみを認証範囲としたもの。

環境に優しく  
安全な性能

JIS K5669規格に基づく  
品質性能  
(建材試験センター)

JIS (日本産業規格) とは、我が国の産業標準化の促進を目的とする産業標準化法に基づき 制定される任意の国家規格です。JIS K 5669は合成樹脂エマルジョンパテの規格番号です。



F☆☆☆☆  
ホルムアルデヒド  
排出基準に適合

建材から発生するホルムアルデヒドの放散速度 (または放散量) に応じて等級を区分しているマークで、F☆☆☆☆は居室で使用面積の制限なく使用可能なものです。



## 7. その他RD商品のご紹介

### ●ワンタイムライト

コンクリート、  
モルタル/セメント壁  
補修用水性パテ（外部用）



### ●セルロンシーラント

変性シリコンと同性能の  
水性コーキング材



### ●クイックペイント

超速乾性水性シリコン/アクリル系  
コーキング材



### ●コンクリートパテ

コンクリート、  
水性既調合パテ

